

こうち・みらいシンポジウム実施要項
地元の高校も、なかなかえいがよ
～13校の先輩が語る、ここでしか聞けん話～

1 開催目的

近年、中山間地域等の小規模校の魅力化・特色化を進めており、社会が大きく変化する今だからこそ輝く「地元の高校での学び」にスポットを当てる。地元だからこそ叶う「多様な未来を描けるフィールド」としての魅力を、中学生や保護者の皆さまに伝えることを目的とする。

2 開催概要

- (1) 日時：9月6日（日） 13:30～16:00
- (2) 開催形式：ハイブリッド型（13会場＋本部をオンライン接続＋地域別対話セッション）
- (3) 場所
 - ア 本部：高知県教育委員会事務局
 - イ 各会場：各地域の高等学校（13校※₁）又は地域施設
- (4) 実施体制
 - 主催：高知県教育委員会事務局（高等学校振興課）
- (5) 参加対象：〔メインターゲット〕地元小中学生の保護者、中学生、中学校教員
〔その他〕地域の皆さま、地域コンソーシアム関係者、小学校教員、高等学校教員、高校生、高校生の保護者

3 プログラム構成（予定）※内容は変更になる場合があります。

＜アイスブレイク＞13会場一斉〇×クイズ

【第1部】トークセッション（ヒントを見つける）

尾田洋平氏※₂×地元高校卒業生×地域の方

【第2部】当事者の声（リアルを知る）

前半：当事者の声①

- ▶大人対象：各地域の保護者（対面）による発表
- ▶児童生徒対象：地元高校卒業生又は現役高校生（対面）による発表

中盤：大学生リポート

- ▶13会場の対面発表をリレー方式で各会場1分リポート

＜特別企画＞13会場合同オンライン抽選会

【第2部】当事者の声（リアルを知る）

後半：当事者の声②

- ▶中学校教員（代表1名ライブ配信）による発表

＜ショートプレゼンテーション＞各学校の取組紹介

【第3部】みらいカフェ（ホンネで話す）

各会場でのグループ対話セッション（大人グループ・子どもグループに分かれ、正解のない未来や高校生活の本音を語り合う参加型対話）

＜クロージング＞本部から未来への一歩につながるラストメッセージ

※1 各地域の高等学校（13校）

室戸高等学校、城山高等学校、嶺北高等学校、高知追手前高等学校吾北分校、高岡高等学校、佐川高等学校、窪川高等学校、檮原高等学校、四万十高等学校、大方高等学校、中村高等学校西土佐分校、宿毛高等学校、清水高等学校

※2 尾田洋平氏

- ▶2011年(株)リクルート入社。観光情報サービス「じゃらん」の中国エリア責任者や業務支援領域の立ち上げなど歴任し、2018年6月退社。
- ▶同年7月より地域・教育魅力化プラットフォーム※3に参画。常務理事・事務局長を経て専務理事として事業全体の統括を担い、2026年4月より共同代表に就任。
- ▶全国約170校が参画し、累計4,000人超が進学してきた「地域みらい留学」の事業総責任者を務めるとともに、自治体・高校・企業との共創による高校魅力化の推進に取り組む。

※3 地域・教育魅力化プラットフォーム

- ▶平成19年より島根県海士町で、隠岐島前高校を中心とする人づくりによるまちづくりを実践してきた岩本悠氏が設立し、代表を務める一般財団法人である。岩本氏は「日本を立て直す100人（朝日新聞出版・AERA）」にも選出されており、平成27年から島根県教育庁と島根県地域振興部を兼務し、教育による地域創生に従事している。